

CDC訪問 2012年

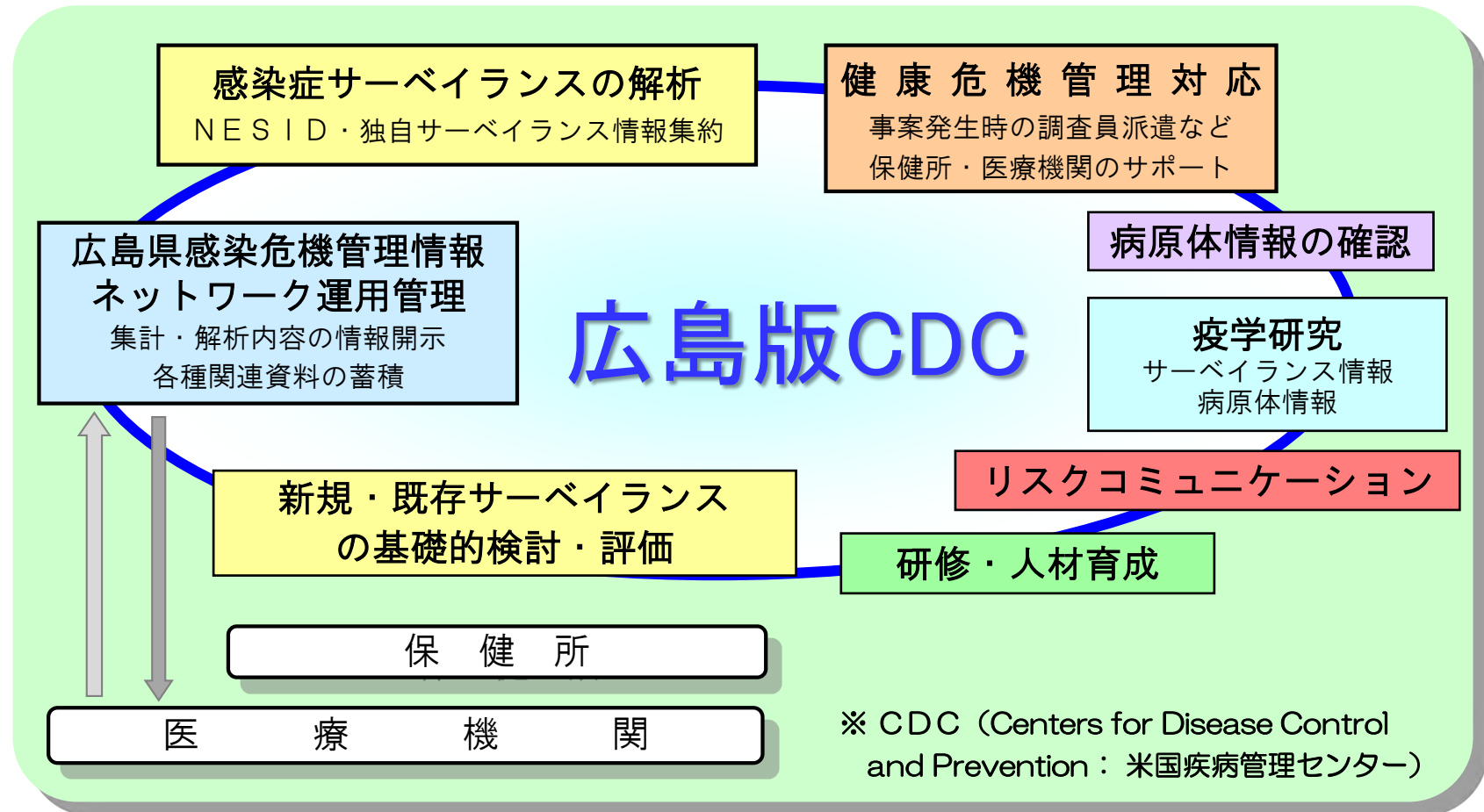


開設前に、国内の大学、研究所、衛研など、米国CDCを訪問。

# 広島県感染症・疫学管理センター(広島版CDC)

新型インフルエンザのパンデミックの経験や近年の感染症発生状況から見えてきた課題に対応するために、

「判断機能(行政権限)」、「検査機能」、「調査機能」を統合した感染症の司令塔機能を果たす「広島県感染症・疾病管理センター(広島版CDC)」を整備する。



# 広島県感染症・疾病管理センターの達成目標

| 達成時期 | 目 標                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 短期   | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 感染症・疫学専門員(仮称)によるさまざまな想定による感染症発生シミュレーションの作成とカリキュラムに基づく研修・トレーニングの実施</li><li>○ 国立感染症研究所疫学専門コース修了者による感染症情報の解析及び発信</li><li>○ 県内の感染症・疫学関係者が集うNPOの設立</li><li>○ 学校・幼稚園・保育所及び高齢者施設等での発熱や下痢等の発生状況把握体制の構築</li></ul> |
| 中長期  | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 外来感染症医療を含めた感染症医療体制の構築</li><li>○ 新型インフルエンザ等の大規模感染症事案が発生した場合の感染症・疫学専門員(仮称)を中心としたチームの現場派遣・まん延防止対策の実施・再発防止策の策定</li><li>○ 耐性菌による感染症サーベイランス体制の構築</li></ul>                                                     |
| 最終目標 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 感染症に対する県民の不安の解消</li><li>○ 県民の安全・安心な生活の確保</li><li>○ 県民の生命及び健康を確保, 県内経済に及ぼす影響の最小化</li></ul>                                                                                                                |



# 新感染症に備え広島県司令センター開設 専門医と連携

広島県は4月1日、新型インフルエンザなど新しい感染症の発生時に、情報分析や流行防止の司令塔になる「感染症・疾病管理センター」を広島市南区の県保健環境センター内に開設した。県職員と医師たち計約30人で構成。専門医と行政が連携して素早く対応する体制を目指す。

センター長は県立広島病院の桑原正雄院長が兼務する。感染症や細菌学、疫学を専門にする医師や大学教授たち7人が非常勤で所属。新たな感染症が発生したり、感染が広がったりした際には現地調査をして対策を考え、県内の保健所や医療機関に指示する。

県からは健康対策課の7人がセンターに移る。感染症の発生状況を把握し、県民に広報する業務を引き続き担当し、医療機関への情報提供にも力を入れる。病原体の検査を担ってきた保健環境センターの14人も兼務で感染症・疾病管理センターの一員に加わる。

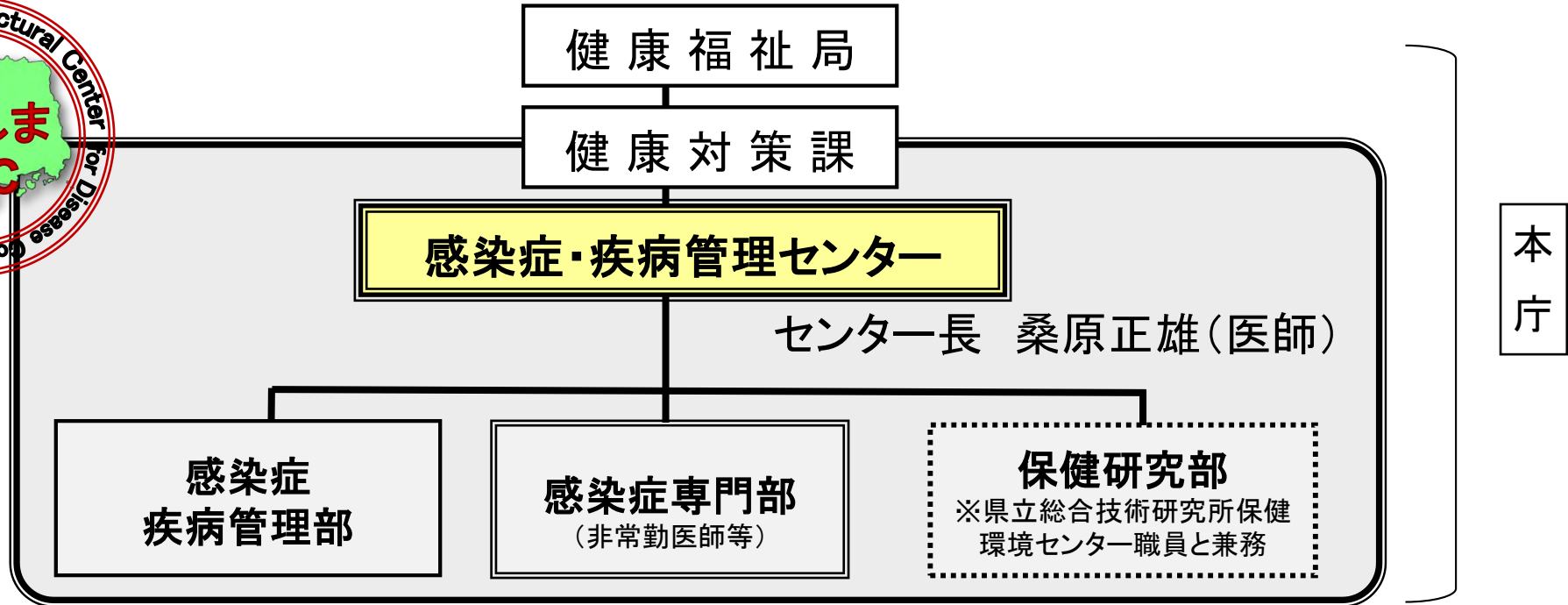


**【写真説明】**広島県の佐々木昌弘健康福祉局長(手前左)からセンター長の辞令を受け取る桑原院長





# 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)の体制



|                                   |        |                   |               |
|-----------------------------------|--------|-------------------|---------------|
| <b>感染症<br/>専門部</b><br><br>(2013年) | 小林 正夫  | 広島大学 小児科学 教授      | 小児感染症         |
|                                   | 大毛 宏喜  | 広島大学病院 感染症科、教授    | 感染症、院内感染対策    |
|                                   | 重藤 えり子 | 東広島医療センター 感染症診療部長 | 呼吸器科(結核)      |
|                                   | 菅井 基行  | 広島大学 細菌学 教授       | 細菌学           |
|                                   | 田中 純子  | 広島大学 疫学・疾病制御学 教授  | 疫学、疾病制御学、医療統計 |
|                                   | 中島 浩一郎 | 庄原赤十字病院 院長        | 地域感染症医療       |
|                                   | 横崎 典哉  | 広島大学病院 検査部 准教授    | サーベイランス・試験検査  |

## 広島県感染症・疾病管理センター

- 感染症対策・施策の計画実行
- 感染症サーベイランスの運営
- 感染症ネットワークの運営
- 研修会等のプログラムの実施
- 感染症・疫学チームメンバーの登録
- 院内感染事案・大規模事案へのチームの派遣
- 登録メンバー等への研修会の実施

感染症チームメンバー

ICD

ICN

感染制御  
薬剤師

臨床検  
査技師

研究者

など

NPO法人

## ひろしまCDC

### 主な業務と流れ

(2013年)

県民

メディア

施策、指示  
情報提供

- リスク解析
- リスクコミュニケーション対応
- 事後指導
- 医療関係者への啓発 など

報告

情報提供

協力要請

情報提供

事案対応

検疫所

保健所

(県・保健所設置市)

医療関連機関・チーム

学校等関係施設

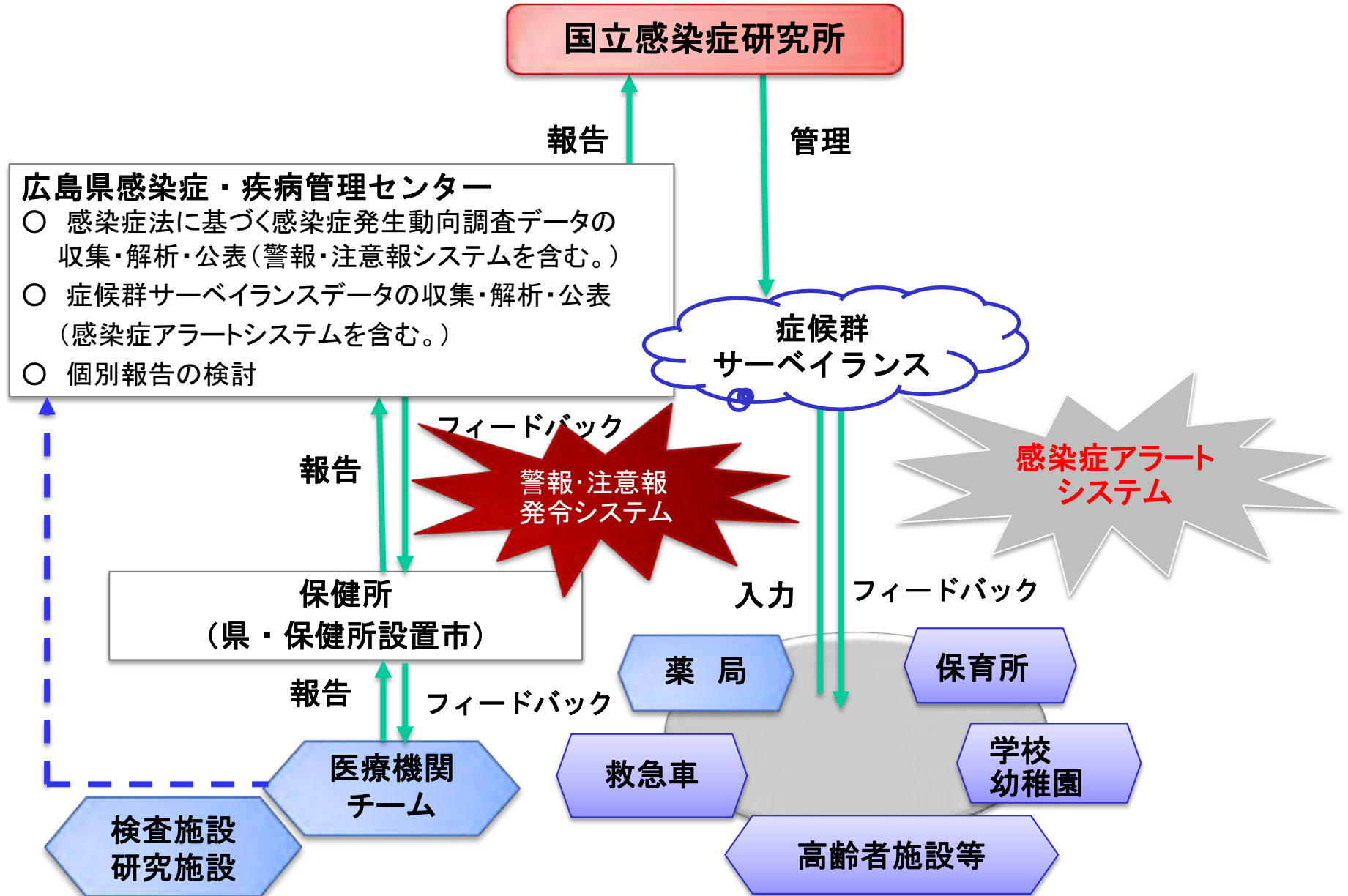
地域での大規模発生  
(エピデミック)

大規模な  
事案

- 積極的疫学調査の実施
- 報告書の作成
- 事後指導
- 県民への啓発 など

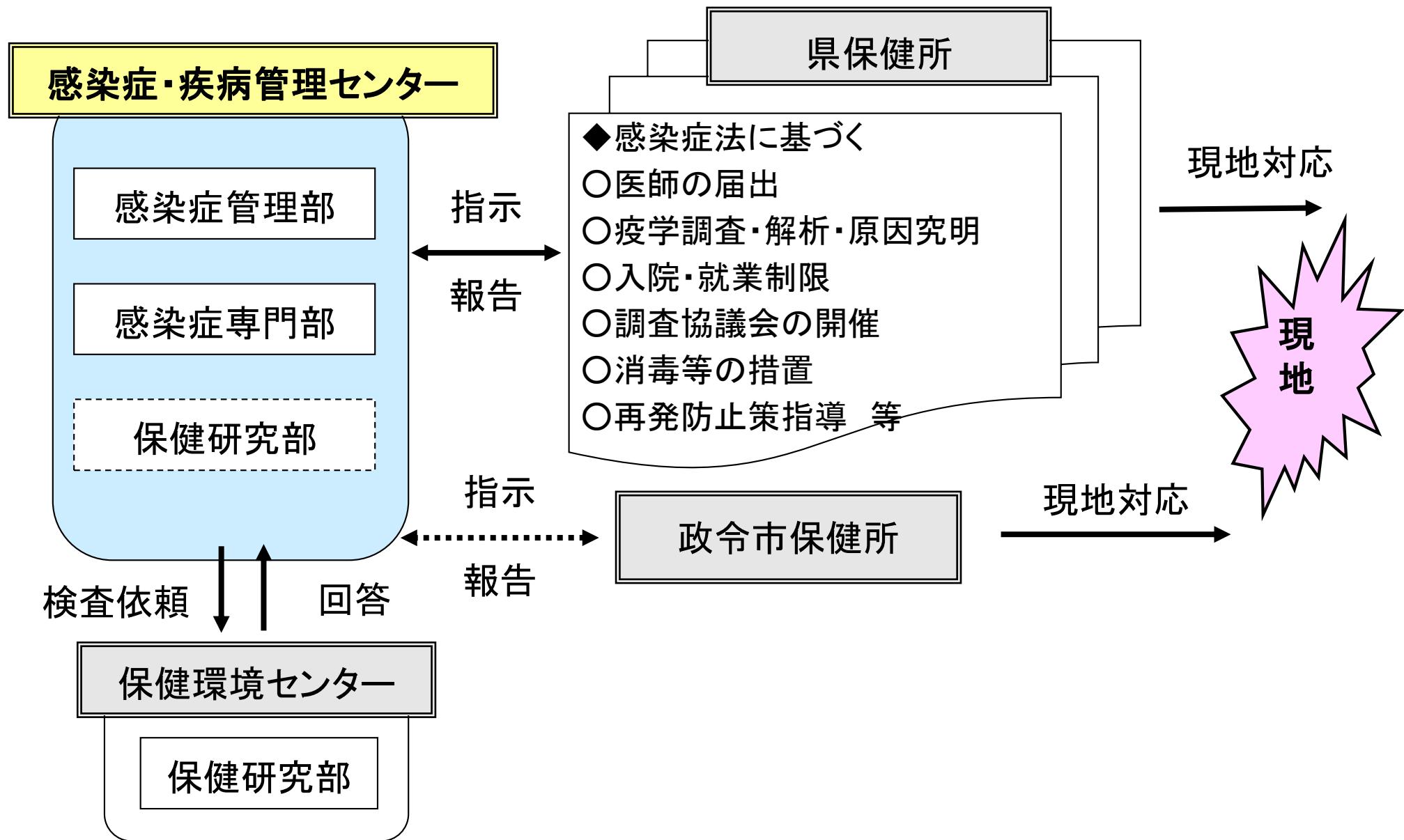
報告

# 感染症サーベイランス体制（2013年）

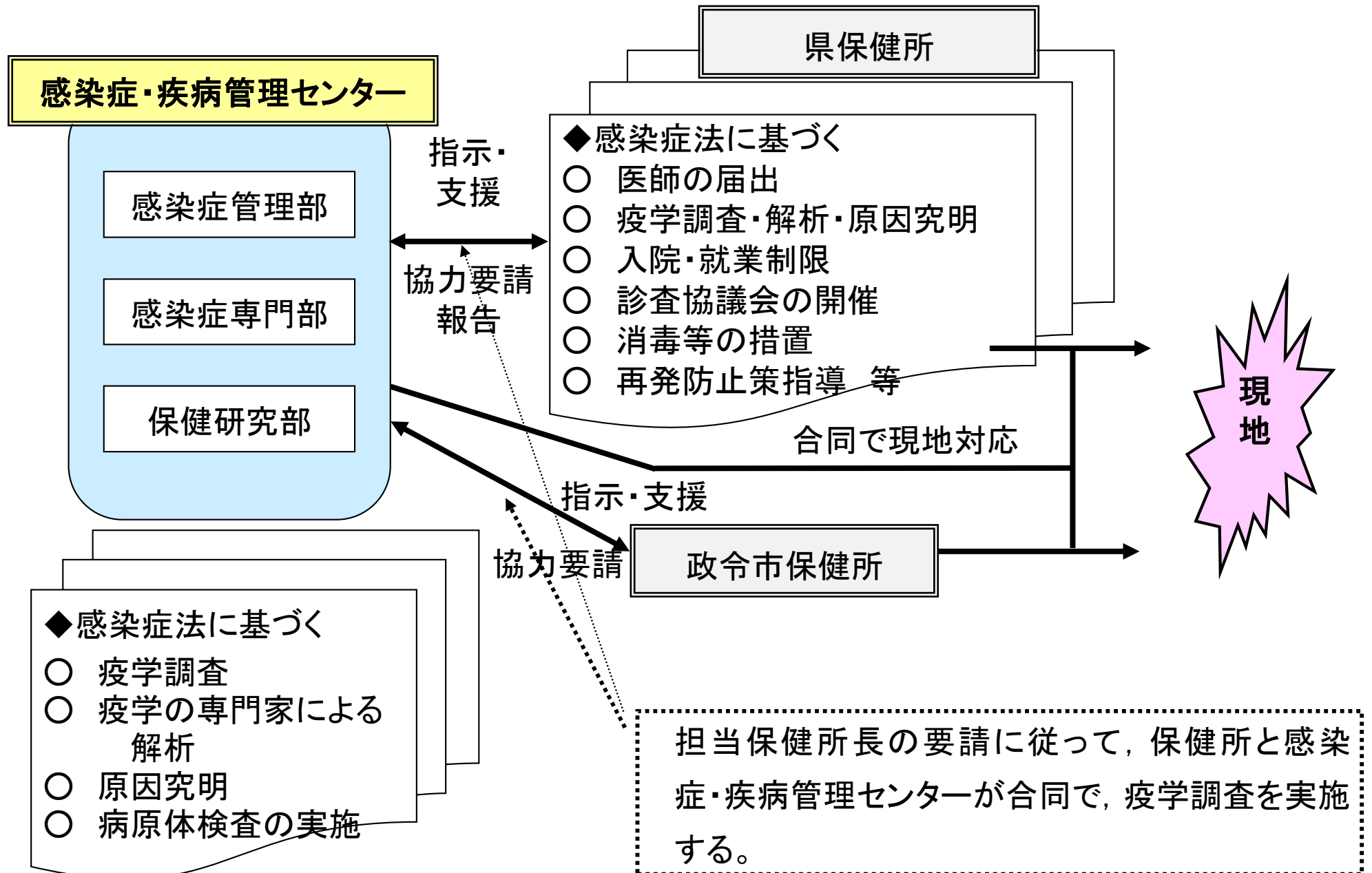




# 通常の事案対応 (2013年)



# 重大な事案対応（保健所長から要請があった場合）（2013年）





# 広島県感染症・疾病管理センター (ひろしまCDC)について



## ■ 概要

平成 21 年の新型インフルエンザのパンデミックの経験や、近年の感染症発生状況（多剤耐性菌の院内感染、感染性胃腸炎の蔓延、亜熱帯性感染症の北上等）から見えてきた課題に対応するため、平成 25 年 4 月 1 日、健康福祉局健康対策課の課内室として、広島県立総合技術研究所保健環境センター内に「広島県感染症・疾病管理センター（ひろしまCDC）」を設置した。

従来の「判断機能（行政権限）」に加え、「検査機能」及び「調査機能」を統合した感染症の司令塔機能を果たすこととしている。

## ■ 業務

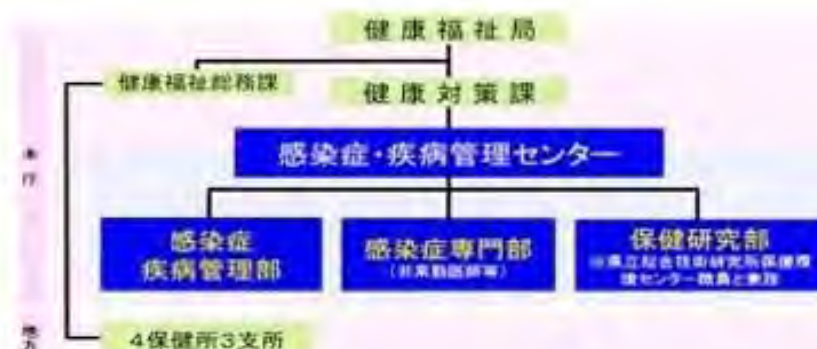
感染症に係る情報の収集から対策の企画立案、検査・研究まで、一元的・一体的に実施。

### ➢ 重大（大規模）事案発生時

- 感染症・疫学の専門スタッフによる迅速かつ正確な情報分析及び公表
- 感染症専門医や疫学専門家などで構成する「特別疫学機動班」を現地に派遣

## ■ 組織

組織は、情報収集・情報発信や行政判断を行う「感染症疾病管理部」、県内の感染症専門医・疫学専門家が非常勤で従事する「感染症専門部」、感染症の検査・研究を担当する「保健研究部（保健環境センター保健研究部との兼務）」の 3 部で構成。



### ➢ 平常時

- 疫学・感染症に携わるスタッフ等を対象とした専門研修・訓練の実施
- 医療機関や団体等とのネットワークの構築及び積極的な情報提供
- 医療体制の整備やパンデミック時の正確な判断、外来・入院の対応体制の整備





インフルエンザ院内感染の調査・指導（H27. 1. 19）  
【感染研・FETPとの連携】



感染症専門員会議（随時）



ひろしまCDC研修（年12回）  
【FETP修了生が疫学演習を担当】



防疫訓練会議（H28. 6. 8）  
【感染研・FETP修了生との連携】



中東呼吸器症候群（MERS）対策連絡会議（H27. 6. 4）



エボラ出血熱対策訓練（H26. 11. 26）



感染症予防研究調査会

## (結核研修コース)

## 広島県感染症・疾病管理センター研修会 (2013年)

| 研修No | 月 日                      | 内 容                      | 講 師                                     |
|------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------------------|
| 1    | 7月19日(金)<br>13:00～15:00  | 結核の基礎知識1<br>～感染から治療まで～   | 国立病院機構東広島医療センター<br>感染症診療部長<br>重藤 えり子 先生 |
| 2    | 9月20日(金)<br>13:00～15:00  | 結核の基礎知識2<br>～接触者健診・患者支援～ |                                         |
| 3    | 10月18日(金)<br>13:00～15:00 | 結核の基礎知識3<br>～施設内感染対策～    |                                         |
| 4    | 12月20日(金)<br>13:00～15:00 | 結核の基礎知識4<br>～潜在性結核症～     |                                         |

## (感染症病原体研修コース)

|   |                          |                   |                                      |
|---|--------------------------|-------------------|--------------------------------------|
| 1 | 9月10日(火)<br>14:00～16:00  | 感染症 細菌学           | 広島大学大学院医歯薬保健学研究院<br>細菌学教授 菅井 基行      |
| 2 | 10月8日(火)<br>13:00～15:00  | 感染症 ウイルス学         | 広島大学大学院医歯薬保健学研究院<br>ウイルス学教授 坂口 剛正 先生 |
| 3 | 11月12日(火)<br>14:00～16:00 | 感染症調査と感染症対策       | 広島大学病院<br>感染症科教授 大毛 宏喜 先生            |
| 4 | 12月13日(金)<br>13:00～15:00 | 施設内の感染防止管理対策・事例対応 | 広島大学病院<br>検査部准教授 横崎 典哉 先生            |

## (疫学研修コース)

|   |                           |                 |                                            |
|---|---------------------------|-----------------|--------------------------------------------|
| 1 | 8月20日(火)<br>10:00～12:00   | 保健統計と健康水準       | 広島大学大学院医歯薬保健学研究院<br>疫学・疾病制御学教授<br>田中 純子 先生 |
| 2 | 9月24日(火)<br>10:00～12:00   | 疫学の基礎知識         |                                            |
| 3 | 11月19日(火)<br>10:00～12:00  | 疫学の演習           |                                            |
| 4 | H26年2月4(火)<br>10:00～12:00 | 感染症疫学データの施策への応用 |                                            |

# NPO法人ひろしま感染症ネットワーク

理事長 桑原 正雄 県立広島病 院長

事務局長 大毛 宏喜 広島大学病院 感染症科教授

- 2014年設立
- ひろしまCDCとの両輪の役割
  - ひろしまCDCの感染症専門員が中心となって役員就任
- 医療機関関係者等を会員とする
- 平時からの人材育成とネットワーク構築
- 医療機関と県民に向けた情報発信
- 行政では介入が難しい感染事例にも対応
  - 機動的な人材派遣
  - ひろしまCDCよりも病院側の視点で活動
- 新型感染症発生時などに備えた危機管理体制